

今年最後の記者会見となりましたので、市民の皆様に年末のご挨拶を申し上げます。

はじめに、メディアを通じて市政に対し、ご理解とご協力を賜りました報道各社、記者の皆様に厚くお礼を申し上げます。

12月に行われました市長選挙の結果を受けて、これから市政を担うこととなりましたが、就任から20日あまりが経過した今、ひしひしとその責任の重さを感じ、日々身の引き締まる思いであります。市民の皆様から寄せられた期待にしっかりと応えできるよう、誠心誠意、生まれ育った苫小牧のために汗を流すことを改めて心に誓ったところでございます。

さて、今年も残すところ僅かとなってまいりましたが、1年を振り返りますと、様々な出来事がございました。

スポーツ分野といたしましては、パリ2024オリンピックスケートボード女子パークにおいて、^{ひらきこな}開心那選手が2大会連続となる銀メダルを獲得され、市民に大きな感動を与えていただきました。また、本市におきましては、1月に第78回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会が、8月には第19回全国高等学校選抜アイスホッケー大会が開催され、多くの選手・関係者にお越しいただきました。全国で最初にスポーツ都市宣言を行ったまちとして、市民の皆さまのスポーツへの関心が一層高まったこと、さらには多くの方に来訪いただき、地域経済の活性化につながったことは、大変喜ばしいことと感じております。

また、8月には八王子市と日光市との3市による姉妹都市盟約から50周年を記念し、八王子市において「^{さん と きずなさい}三都絆祭」が開催され、本市からも木村副市長や藤田議長のほか、関係する市民が出席して盛大に執り行われました。千人同心を縁にした姉妹都市ではありません

すが、歴史、文化、教育、産業など、各分野における交流の重要性を肌で感じたイベントであったと聞いております。

今年のうれしいニュースといたしましては、11月に、性的少数者（LGBTQ）など性の在り方にかかわらず誰もが働きやすい職場づくりを評価する「^{プ ラ イ ド}PRIDE指標」において、最高位の「ゴールド認定」と、社会課題への取組などを評価する「レインボー認定」を同時受賞したことが挙げられます。道内の自治体としては初めての受賞であり、これまでの地道な取組が評価されたものと考えております。性別を超えて誰もが生き生きと暮らすことができるまちづくりを進めるうえで、大きな一歩となりました。

そして11月には、5期18年の長きに渡り市政を担っていただきました岩倉市長の退任がございました。改めまして、岩倉市長の多大なるご功績に敬意と感謝を申し上げます。

本市には、駅前の再整備に向けた課題などがある一方、半導体企業などの進出による、明るい兆しも見えております。

来年は、市民の皆さまや団体、企業、近隣自治体との連携をさらに強化し、市民総活躍のまちを目指して、私自身が先頭に立ち、本市のさらなる発展に向けて全力を尽くしてまいりますので、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

結びとなりますが、皆様が良い年を迎えられますとともに、来年のご健勝とご多幸を切にご祈念申し上げ、年末の挨拶とさせていただきます。

今年一年、ありがとうございました。